

2016年9月12日

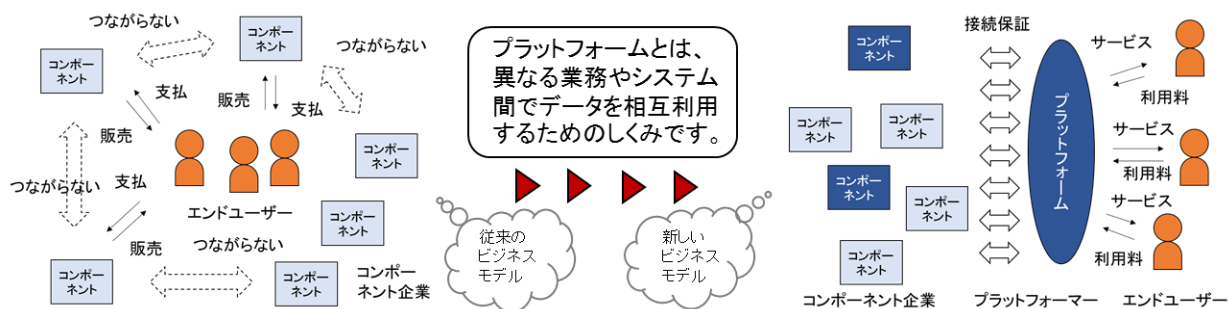
報道関係者各位

一般社団法人インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ

「インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ」プラットフォームの公募開始、日本版「つながる工場」プラットフォームの基本構想を公開しました。

一般社団法人インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ（理事長 西岡靖之、以下IVI）は、「つながる工場」プラットフォームの基本構想を公開し、2016年9月12日よりIVIプラットフォームの募集を開始しました。IVIプラットフォームとは、アプリ、デバイス、インフラ、ツールといったITのコンポーネントが相互に接続するためのしくみです。これまでは、特にメーカーの違うコンポーネントをつなげるには、膨大な労力が必要でした。IVIプラットフォームでは、あらかじめ8個のカテゴリごとにリファレンスモデル（参照するモデル）を定義し、ゆるやかな標準のコンセプトに沿ってデータの接続モデルを定めることでこの課題を解決します。

2015年6月に設立されたIVIは、初年度の活動として、製造業の現場のニーズに沿った20の業務シナリオを完成させ、それに合わせた「つながる工場」のしくみを実装することで、海外からも高い評価を得ました。2年目となる本年度は、すでに25以上の業務シナリオが提案されています。こうした現場における実際のニーズに対し、ITあるいはIoTのしくみとして、それぞれ異なる形式のデータをつなぐためには、個々のコンポーネントがそれぞれの仕様を部分的に公開するとともに、プラットフォームが、製造業の担当者に代わってそれらのコンポーネントをつなぐ役割を担う必要があります。



そこで、IVIでは、本年度の活動の中で、プラットフォーム委員会、およびプラットフォームワーキンググループ（WG）を組織し、以下の表にある8つのカテゴリごとにありべきコンポーネントの機能や、そこで利用するデータ、そして典型的な業務シナリオなどを議論し、プラットフォームの要件仕様としてまとめることとしました。これにより、従来のITサービス企業、デバイスを提供してきた製造業などは、それらの製品やサービスをコンポーネントとして販売するのではなく、プラットフォーム上でつながるサービスとして提供することが可能となります。

IVIでは、10月13日（木）に都内で公開シンポジウムを開催し、IVIプラットフォームの基本構想および25種類の業務シナリオの詳細を発表します。

IVI プラットフォームのカテゴリ

以下のカテゴリごとに、プラットフォーム WG がリファレンスモデルを設定します。今回参加する IVI プラットフォーマーは、それに対する機能の有無をプロファイルとして提示することで、最終ユーザーである製造業から全体が見えるようになります。

カテゴリ名	説明
生産技術情報 PF	設計情報から生産ラインの構成を検討し、試作から量産までのプロセスに至る技術データを扱う PF。
現場情報管理 PF	生産現場で得られる品質データ、技能データ、稼働データをもとに QCD を日々改善するための PF
計画実績連携 PF	生産ラインにおいて工程進捗を管理し、計画変更や仕様変更や現場の状況に応じてダイナミックに対応するための PF
企業間連携 PF	企業間のサプライチェーンやエンジニアリングチェーンに必要なデータをセキュアに交換するための PF
企業まるごと PF	中小企業向けに、「売り」「買い」「作り」がつながり、生産管理に必要な機能をコンパクトにまとめた PF
予知保全 PF	故障予知のために必要な関連データを、メーカーやサイトを超えて管理し、必要な対策をとるための PF
設備管理 PF	設備の稼働データを活用し、総合設備効率を向上するとともに生産管理や品質管理ともつなげるための PF
保守サービス PF	販売した製品の利用状況をモニタリングし、故障時のサポートや予備品などを共同で行うための PF

(PF: プラットフォーム)

■ゆるやかな標準とは

異なる装置と装置がダイレクトに接続する場合は、厳格なルールや規約にもとづいた標準が必要となります。一方で、生産現場や、改善活動をともなう人が中心のしくみでは、厳格で細かすぎる標準は、かえって個々の特性や人の創意工夫を阻害する場合があります。ゆるやかな標準では、最低限の共通化すべき部分のみが規定され、個別の変更や部分的な改良を許容します。

■リファレンス（参照）モデルとは

リファレンスモデルとは、ゆるやかな標準として、対象となるアプリ、デバイス、インフラ、ツールなどのコンポーネントの機能、それらの間の接続方法、そしてそこで利用されるデータの意味的な構造をモデルとして表現したものです。最終ユーザーである製造業の担当者や、コンポーネントを提供する企業は、これを参考として、相互に接続するしくみを構築します。

■インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ（IVI）とは

IoT 時代におけるものづくりと IT の融合によって可能となる“つながる”ものづくりを、“ゆるやかな標準”というコンセプトをもとに実現することを目的として 2015 年 6 月 18 日に設立された製造業を中心としたフォーラムです。I H I、オムロン、川崎重工業、キヤノン、神戸製鋼所、小島プレス工業、今野製作所、ダイフク、東芝、トヨタ自動車、豊田中央研究所、ニコン、日本電気、パナソニック、日立製作所、富士通、マツダ、三菱電機、安川電機など、国内外で 200 社以上が参加しています。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1 モノづくり日本会議内

FAX : 03-5644-7209 電子メール : office@iv-i.org

インダストリアル・バリューチェーン・イニシアチブ 事務局（担当：鎌田正雄）

ホームページ : <http://iv-i.org/>

＜報道機関からのお問い合わせ先＞

IVI 事務局 担当：鎌田正雄

電子メール : office@iv-i.org

以上